

日本山岳写真協会ニュース

日本山岳写真協会(Japan Alpine Photographers Association)

4月号

2023年4月15日発行
(第501号)

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15番4号 第一原嶋ビル502号
TEL/FAX(03)5357-7387 日本山岳写真協会

メールアドレス japa@lime.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.japa.server-shared.com/>



「ライチョウ」

赤羽 和貴 会員撮影

会員の皆様へ〈問合せ、連絡等についてのお願い〉

協会事務所は係が常駐していませんので、問合せ、連絡等は、担当理事に直接お願いします

入退会、休会、名義申請等	(岩本 直樹)	046-256-1422	i.naoki@wonder.ocn.ne.jp
諸経費支払い、振込等	(青山 陽子)	0466-25-9663	kiyoko_a@jcom.home.ne.jp
年会費振込、例会等	(大村 肅)	03-3705-0224	sohmura1949@a04.itscom.net
協会展、公募、選抜展等	(大石 高志)	045-789-0775	ooishitk@kg8.so-net.ne.jp
原稿掲載依頼、DM 掲載等	(飯田 信義)	048-931-0526	iida_nobu_1413_photo@ybb.ne.jp
協会 HP 掲載依頼等	(鈴木 菊雄)	047-184-0702	suzu99@d9.dion.ne.jp

「私の休日」

関西支部 西川 榮治

私がカメラを持ったのが小学校修学旅行に買って貰い、後一眼レフカメラを持っていたのですが、妻が50歳ごろから山歩きを初めカタログが散らばっており、ニュージーランドのミルフォドの散歩道の素晴らしく美しいカタログに急に参加したくなり、同行する事で山歩きの美しさを知るきっかけになり、それ以後登山の経験がないので、各ツアーに参加しプロの方々と、多くの友人ができ大阪方面からは殆どおらず一人の時間が多かったようで、山岳写真家 高橋良一、磯貝猛、先生方と親しくなり個人的にもご一緒させて頂き近年に至っておりましたが、両プロも数年前にお亡くなりになり、寂しい思いで過去の山歩きを思い出しております。

私の写真による現実の再生は美的使命を詳説し写真は簡単に写せること、その時の精神状態は被写体を探しているときは空であり、すべて投影しあらゆるものと一体となりその感銘が、私の業務を離れた瞬間であります。

しかし現在の写真機材に於いて、Dカメラ、PC、生成AI等が高性能化し写真自体は主観的でも客観的でもない、それは写真の外側に

あるルールだったり文章だったり、他の写真だったりと外に広がるが、どこまでを「写真」の範囲に含めるかによって写真を論ずることが決まるのではないのでしょうか、

山岳写真とは共鳴、感動を喚起させ心象ある風景であり、そしてそびえる山々の片隅にひっそり眠っている、自然美のかけらがあるのに気づきそれを優しく光と影、線と面、形と色彩の要素を組み合わせる造形、それは詩心が一つとなり心の眼を開かせる写真を見つけ出したいと、、、、

2003年4月号協会ニュースに、当支部小町雄一先輩の巻頭言「憧憬そしてスローライフイズム」我々は山岳自然との対峙で写真映像を撮る、それはあくまでも待ちの姿勢であり、スローライフを実践している我等であると、、、(簡略しています)

この思いは近年に至っても同じであり、私はスローライフを実践して行きたい。

5月号の予告

表紙 北陸支部
巻頭言 松本支部

第90回デジタル研究会のお知らせ 担当:川瀬

デジタル研究会を下記により開催します。

- 日時 2023年5月25日(木) 18:30～20:30
場所 JAPA協会事務所(四谷)にて
今回もZOOMによるリモート参加は行いません
テーマ ①新緑の山撮影ガイド(川井)
②新緑,残雪期のRAW現像例紹介(川瀬)
③作例研究(参加者)…各自最近の作例をプリントしてください
*専用PCを用意しますので、画像処理でご相談等ありましたらUSB又はSDカードでデータをお持ちください。

2023 年の合同撮影会

初夏の立山撮影会の追加募集のご案内

協会ニュース 2・3 月合併号でご案内しました表記の撮影会には、あと少し余裕があります。4 月 30 日〆切で追加募集いたします。奮って応募下さい、お待ちしております。

応募は、はがき、FAX, メールにて下記事務局までお送りください。

〒939-1315 富山県砺波市太田 1313 橋場正夫 宛

FAX 0763-32-4587 メール zhengfuqiaochang@gmail.com

記載必須事項は 氏名+あれば支部名、住所、電話番号+携帯

問い合わせ 事務局 橋場正夫 ☎0763-32-4587 090-2374-5041

高見源彰 ☎076-421-1537 090-7082-8113

その他 合併号の案内も参考にご覧ください

開催日ころの立山周辺の画像も添付しました、参考までご覧ください。



浄土沢と立山



崩壊したブロックと立山 浄土沢



残雪の大日岳



剣御前まで登れば豪快な剣岳も

3月定例理事会議事録

日時 令和5年3月18日(土)
午後1時～4時
場所 日本山岳写真協会事務所
出席者 青山・飯田・岩本・大石・大村
清水・鈴木(菊) 7名
司会 清水 記録:岩本

報告事項

- 入退会報告(岩本副理事長)
- *退会者
 - 969 高城泰輔(東京都)
 - 963 香月夏雄(埼玉県)
 - 1163 伊藤政光(埼玉県)以上3名の退会を承認した。
逝去 907 佐々木健二(関西支部)
1月27日付け
- 総務(岩本副理事長) 名簿改訂版(令和5年度)は2月21日の在籍者を掲載。その後下記の退会者6名が印刷されていますので訂正ください。
 - 1198 伊藤利八郎・512 梅本知榮子
 - 907 佐々木健二
 - 1087 長谷川 勇・949 早川定善
 - 604 町田佐智子
- *委員候補3名(沖 真弘氏・河野 啓氏・西野 秀樹氏)と面接して委員候補とした。
- *電話番号訂正・・・382 能條自大
080-3738-3469
- *メールアドレス訂正・・・289 名取 洋
hiro-nozo.natori@jcom.zaq.ne.jp
- *役員一覧頁 関西支部長
池上 擴朗(かくろう)に訂正
- *新入会員用グッズを3月末「チヂキ」社に発注する。
- 会計(青山理事) 会費未納者が15名と報告。
- 会報(飯田副理事長) 2・3月合併号を発送したので3月は休刊。
- 企画(大村理事) 3月4日月例会にはプリント講習(9時～5時)には8名が参加した有意義な講習会と報告。6月は作品の郵送による講習を予定。
- 写真展関係(大石理事) 2024年版カレンダー作品募集は4月8日のみ JAPA 事務所受け付け。審査は4月中旬を予定。協会名の文字の大きさについて検討する。
- I・T(鈴木副理事長) ホームページ更新

は4月初旬に作業予定。

****議事****

- 1 写真展・一般公募・選抜展の進捗状況(大石理事・鈴木副理事長)
 - 選抜展 2月18日ポートレートギャラリーに審査作品と審査書類を提出し受付票を受理。
 - 協会展・一般公募展
協会展は9月9日(土)～9月17日(日)東京都美術館2階第1展示室。
一般公募入選者表彰式 9月16日(土)上野精養軒2階
協会展祝賀会 9月16日(土) 上野精養軒を予定。5月頃会場側と打合せ予定。
 - 3月6日～10日応募作品受付した
会員応募者220名(デジタル171名・フィルム46名) フィルム・デジタル混合3名
 - 一般公募応募者数 56名(3月10日付け)追加予定。
 - 作品審査予定 4月1日(土)～2日(日)協会事務所にて写真展審査委員と写真展理事で行う。
 - 山岳写真セミナー(東京都美術館講堂)開催を決定した。
3月5日 抽選会で当選し、使用料を3月9日振込した。
9月12日(火) 午後 両毛支部担当
9月13日(水) 午後 北陸支部担当
今後支部が計画した講演内容について打ち合わせをする。
- 2 合同撮影会参加状況
北陸支部主管の合同撮影会の申し込み期限が4月30日であるので支部からの中間報告はない。
- 3 85周年記念事業について(清水理事長)
 - 記念出版写真集発行
参加希望者アンケート、記念出版委員会の立ち上げなど計画予定。
 - 技術本出版の提案(川井副会長)について4月理事会で検討する。
 - 特別展(ポートレートギャラリー)での開催について検討する。
 - 創立85周年祝賀会は今年の協会展祝賀会を開催した場合などを参考にして計画する。
 - 特別セミナー計画は東京都美術館講堂で開催する場合の講師や内容などを検討する。

4 その他

○優良三賞について

中野前監事からご寄付をいただいたので従来の三賞に追加する案で検討した。賞名などを4月理事会で意見交換したい。

○新入会員用のグッズが残り少ないので追加発注することが決まり、担当者について新入会員証を発行している大村理事の了承が得られたのでお願いした。

○会費未納者については3月末時点で、4月初旬督促状を送付する。その後の会費未納者には5月会報から送付を停止することを確認した。

○名簿管理と会報発送シールの一括管理を川瀬理事にお願いする。企画担当から総務担当とし、IT兼務とする。

○山岳写真研究会（第1回データーによる）の作品応募を5月8日～15日まで。今回はDVD郵送も可。

○会運営の協力者説明会（3月18日）3名が参加。業務内容を説明し委員として協力をお願いした。

■次回定例理事会 4月15日（土）
午後1時より TKP 貸会議室四谷
3階第一会議室

【3月例会報告】

3月4日協会事務所に於きまして、「作品プリントの作り方」をテーマに月例会を開催しました。コロナ禍も収まりつつあり、月例会としては久しぶりの対面での開催となり、8名の方にご参加頂きました。「作品プリントの作り方」というテーマで、事務所にBJプリンター Canon PRO 100を運び込んでの実演としました。プリンターの設置では、小型PCも持ち込み、モニターとのカラーマネジメントも行い、モニターの色をほぼ同等にプリントへ反映できるようにしました。

それぞれお持ちいただいたデータを印刷しましたが、共通していたことは現像をさらに追い込むことで、素晴らしく見映えの良い作品へ仕上がることを実感頂きました。主に処方した画像処理では、トーンカーブでコントラストを少し上げて、カラーバランスで色調の偏りを修正することで、作品のメリハリや立体感が明確となりました。ある会員からは、「目からうろこの感覚でした。作って頂いた写真は自分の作品かと疑いました。」とのコメントも頂きました。

今回の例会から感じたことは、「作品プリントの作り方」では印刷作業そのものより、正しいモニターで画像処理をきちんと仕上げしておくべきであり、現像作業の追い込みが重要であることをご認識頂けたと思います。デジタル写真は、撮影5割、現像処理5割と言われており、現像処理により作品の価値が大きく上がります。

今後の企画としては、今回の「作品プリントの作り方」だけでなく、「美しい作品への仕上げ方」という切り口で、印刷だけでなく現像処理の実践的な例会も企画として必要であることを感じました。

個別に現像や印刷等ご相談したいことがありましたら、担当の川瀬*までご連絡ください。

(*会員名簿にてメールアドレスをご確認ください。)

企画担当:川瀬(記)



2023年日本山岳写真協会両毛支部撮影会 『スノーキャットで行く樹氷撮影会』の報告

2023年2月11日（土）～12日（日）に開催された撮影会には、両毛支部会員と協会会員、会員外の総勢20名の参加で行われました。

初日は菅平プリンスホテルで3時から受付、その後、全員が集まった時点で、明日の予定についての案内と説明を受けました。

当初予定していたスノーキャットの乗り場に行く順番をA班とB班に別けて、ホテル出発も時間差を想定していたが、リフト乗り場近くの駐車場が後半組では近くに駐車できない事が予想され、集合写真撮影後、A班とB班同時にホテルを出発。

案の定、リフト乗り場近くの駐車場は満車状態。それでも何とか2班とも駐車できた。

まずはA班がスノーキャットに乗るべく先行してリフトに乗り、B班は1時間近く駐車場で待機してからリフトに乗車。2班に別けた理由は、スノーキャットが10人しか乗れない為。それも、1台しか稼働しないのと、根子岳山頂付近までの往復時間が1時間近くかかるため。

この日は天気も良く暖かく、スノーシューでの登山者や山スキーで登る人達が大勢いました。

スノーキャット降車地点では樹氷群が青空に映えていました。ここから根子岳山頂までは、約10分分で登れて参加者の殆どが山頂周辺の樹氷群を約1時間程度撮影して、再びスノーキャットでリフト乗り場近くまで行き、そこから少しの距離を歩き駐車場に戻り、車に乗ってホテルに向かった。ホテルまで戻る時、道路には沢山の車が所狭しに駐車してあった。この日は日曜日で家族連れが目立った。

大阪から参加いただいた会員には、遠路の所ありがとうございました。

好天に恵まれた撮影会もお陰様で無事終了することができました。参加いただいた皆さんには大変有難うございました。

（記：鈴木隆志）



JAPA 東海支部写真展「山・自然との対話」 予告 in 夏山フェスタ

大島 隆義

今年も中部地区最大級の山岳イベント、第9回夏山フェスタが6月3（土）・4日（日）の2日間で開催され我々東海支部も参加いたします。

このイベントは年々右肩上がりの来場者数を数え、2日間ともに山に関わる著名人を招きセミナーやトークショーなどをメインイベントに中部圏の山小屋が約30軒、登山用品メーカー・自治体など約60のブース出店もあり年々盛り上がりは膨らむばかりです。今年はイベント行事もコロナ前のような態勢で行えることもあり更なる盛況の期待が持てます。

我々東海支部としては壁面に昨年の東海支部展で展示した作品群を展示するとともにブースも設け山岳写真撮影や撮影地のアドバイスと新規入会募集などの協会宣伝認知活動など、以前も行ったポストカード配布も再開するとともに、来場者へのアピールやコミュニケーションを図り東海支部の事業方針でもある地域活動貢献の一環としてこのイベントを盛り上げてまいります。

〔支部長追記〕

東海支部副支部長の大島隆義氏は今年も夏山フェスタ企画のセミナーで登壇の予定です。わかり易く為になる撮影術の講演は必見です！皆さま、ぜひお越しくださいませ。

〔昨年の会場風景〕



「自然・そして山」写真3人展を終えて

「自然・そして山」写真3人展を2023年3月14日（火）～19日（日）の6日間、金沢21世紀美術館にてJAPA北陸支部の山口毅、矢尾正巳と友人の岩瀬洋一氏、3名にて全倍サイズ21点を含む写真パネル70点にて展示発表いたしました。

山口は、白山や立山、劔岳、槍ヶ岳を中心に畏敬の念を催す山々の威容を、矢尾は北アルプス全般を中心に夏山の爽快感、そして晩秋から冬にかけての山の厳しさを表現したく展示しました。

開催直前にコロナ規制が緩和されたことや春休み期間と重なり、8740名の入場者数を記録しました。

見ていただいた方々は10代後半から30代の若い方が多く、金沢21世紀美術館のコンセプトでもある、向学のために美術館に来るのではなく、テーマパークに遊びに行くような感覚で来られていました。

展示にあたって北陸支部の方々に応援していただき、深く感謝いたします。

なお、来年（2024年）3月金沢21世紀美術館にてJAPA北陸支部創立30周年記念写真展を開催する予定です。
（北陸支部 矢尾 記）



写真展案内

第36回 両毛支部展

『山・すばらしい自然』

J·A·P·A

主催
後援

日本山岳写真協会両毛支部
栃木市教育委員会



雪山での冒険(那須町・茶臼岳) 長山 翔

第36回 日本山岳写真協会両毛支部展

山・すばらしい自然

● 令和5年6月1日(木)～4日(日)午前10時～午後5時(4日は午後4時まで)
● とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館)

・会期=令和5年6月1日(木)～4日(日) ・会場=とちぎ岩下の新生姜ホール
午前10時～午後5時 (栃木文化会館)
(4日は午後4時まで) 栃木市旭町 12-16

写真展案内

第44回 SSP展

「自然を楽しむ科学の眼 2023-2024」

第44回 SSP展「自然を楽しむ科学の眼2023-2024」 一般社団法人 日本自然科学写真協会 後援 環境省



玉田 尚之「ホンドギツネ子育て奮闘記」



谷内 靖史「ニホンアマガエルとお那亀虫」



横山 和男「オワンクラゲ」



矢内 靖史「ニホンアマガエルとお那亀虫」

富士フィルムフォトサロン

- 東京展 2023年5月19日(金)～5月25日(木)
- 札幌展 2023年6月9日(金)～6月14日(水)
- 大阪展 2023年6月30日(金)～7月6日(木)

■ 新潟展 水の駅「ビュー福島潟」
2023年7月22日(土)～8月27日(日)

■ 富山展 富山市科学博物館
2023年9月14日(木)～10月11日(水)

■ 京都展 AMS写真館ギャラリー
2023年12月1日(金)～12月6日(水)

■ 島根展 島根県立三瓶自然館サヒメル
2023年12月23日(土)～2024年1月28日(日)

■ 広島展 5-Daysこども文化科学館
2024年2月10日(土)～3月3日(日)

■ 宮崎展 宮崎県総合博物館
2024年4月27日(土)～6月9日(日)

SSP (日本自然科学写真協会) 事務局 〒102-0076 東京都千代田区五番町5-6 ビラカーサ五番町208 TEL・FAX 03-3264-3383 E-mail ssp@ssp-japan.org HP https://www.ssp-japan.org

日 時= 2023年5月19日(金)～5月25日(木)
ところ= 富士フィルムフォトサロン東京
◎全国各地を巡回いたします
○ JAPA から川口邦雄、岩本直樹が出品

第三回 山岳写真研究会の結果

講評担当 飯田 信義

第三回目の山岳写真研究会は2月12日に締め切られ、応募者8名・応募点数は34点でした。前回の二回でも色々指摘されていたように画面構成の具合（例えば空の量が多すぎるとか、暗部が多いとか）を調整したら良いと思いました。また今回は雲海の写真も多く出されていましたが、シャッターチャンスについても、個々に記しておきました。今回の応募作品全部に一枚一枚にフレーミング等のコメントを付けて2月23日に応募者に返送いたしました。

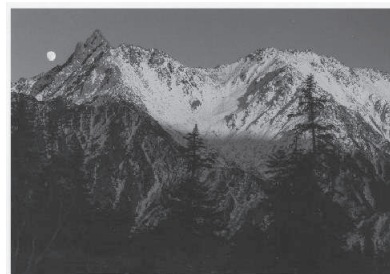
下記の作品が応募者の作品の中から一人1点を選んだものです。



乗鞍に花束を



雲湧く小蓮華山稜線



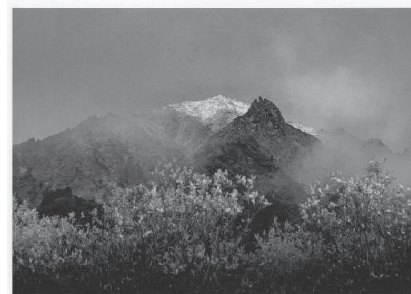
夕映えの槍ヶ岳と月



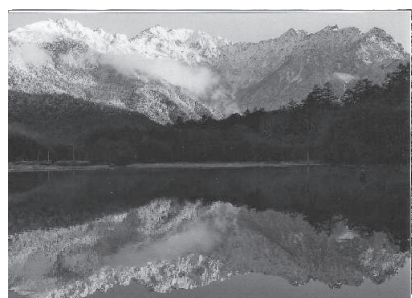
難壁（南壁）赤く



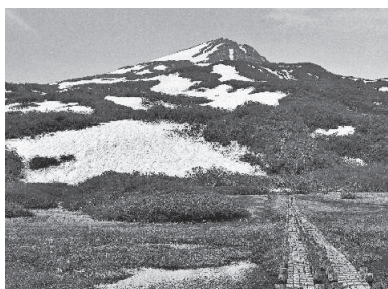
黎明の北アルプス



大山南壁を臨む



初冠雪の朝



春の気配

第1回 山岳写真研究会（データによる研究会） 募集案内

.....

プリントによる作品研究会に続いて、作品データによる研究会を行います。作品はプリントする前に画像データを完成する作業が必要です。下記の通り行いますのでご応募下さい。

- 1) 内容： 作品データを事務局に送付、講評担当者が作品にコメントをして返送する。
- 2) 応募対象者：入会歴の短い会員
- 3) 応募方法：作品データをjpg形式にて保存して、メール添付やデータ便で事務局宛てに送付する。
応募数は2～3点。データ送付は今回に限りDVDでの郵送も受付ける。
- 4) 応募に添付するもの： 作品データと応募一覧表(会員専用ページよりダウンロード)
- 5) 応募期間：5月8日(月)から15日(月)
- 6) 講評者： 副理事長 鈴木菊雄（写真展審査委員）
写真活動歴： 一般公募や写真展でのデータチェック、ラボでの仕上げ確認など
作品は山と溪谷誌グラフやカレンダー、企業や旅行パンフなどに掲載している。
撮影は20年前より世界の名峰撮影、国内は南北アルプスや八ヶ岳、尾瀬、月山鳥海山など
◎今回の主な講評ポイント：データ処理の完成度、過度な表現の有無、総合的な作品力
- 7) 結果の返送： 応募者のメールアドレスに連絡する。(郵送はしません。データは返送しません)
- 8) 事務局住所及び担当者：
〒270-1165 千葉県我孫子市並木 7-11-14 鈴木菊雄方 日本山岳写真協会事務局
問合せ先； Mail suzu99@d9.dion.ne.jp
- 9) その他：
 - 9-1 送付データはメール添付の場合は、2Mb程度にリサイズして下さい。DVDやデータ便の場合は大きくてもOKです。
 - 9-2 講評は全体を見ての感想や、更に良くなるワンポイントなどです。応募者氏名は非公開とします。
 - 9-3 今回の結果により年内に第二回を行う予定です。

企画係

2月定例理事会議事録

日時 令和5年2月18日(土)
午後1時～午後3時30分
場所 TKP スター貸会議室四谷(3F)
第1会議室
出席者 青山、飯田、飯塚、岩本、大石
大村、川瀬、清水、鈴木(菊)
関口、緑川
川井、鈴木(克)、小堀 以上14名
司会 清水 記録:岩本

< 報告事項 >

*入退会(岩本副理事長)

退会者:895 野口 正史
862 小幡 賢次・1087 長谷川 勇
1136 高橋秀夫・604 町田佐智子
949 早川定善・512 梅本知榮子
以上7名の退会を承認した。

*総務(岩本副理事長)

理事連絡表の改定版配布(監事2名掲載・
関西支部長池上氏に交代)
事務所当番表は総会時に配布済
会員名簿は2月21日時点での会員を記載
している。退会者7名も記載されているが
名簿の配布は中止とした。
新入会員用の入会グッズは総会で予算案が
承認されたので注文する。

*会計(青山理事)

2月15日時点で年度会費未納者は30名と
報告した。3月末に督促状を送る。

*会報(飯田副理事長)

会報2・3月号は30頁で、校正が済み、24
日に発送予定です。
同封物は2023会員名簿・2024年カレンダー
応募票3枚・会計の令和4年度決算報告書・
予算案など。

*企画(大村理事)企画案で報告。

*写真展(大石理事)

令和4年協会展での3賞受賞者が欠席した
ので表彰状・記念メダルを2月6日送付した。
選抜展の審査(写真展審査委員会)は1月
21日開催し12名を選考した。
ポートレートギャラリーに2月18日審査
書類を提出した。
令和6年度のカレンダーの募集要項を会報
2・3月合併号に掲載、応募票同封する。
締め切りは4月8日(土)1日のみで、審
査は4月上旬

*IT(鈴木菊 副理事長)

ホームページは3月初旬に更新作業を行
う。新WEBでは今年から個人サイトでの
山・写真の掲載が多い会員に直接掲載を許
可することにした。

31名の登録が完了した。1月から2月18
日までの期間に協会の行事や支部の行事、
撮影地情報などに49回の投稿があった。

****議 事****

1 総会総括(清水理事長他)

今年の総会も関係者の協力により、無事終
えることができ感謝申し上げます。

コロナ禍での開催でしたが、支部長全員が
出席されて事業計画などの報告を頂いた。
松本支部よりカレンダーの提供がありました。
御礼申しあげます。

2 写真展(協会展・公募展・選抜展)につ いて(大石理事)

*選抜展 1月21日に協会事務所において
写真展審査委員による審査の結果、12名
の出展者が決まった。2月18日にポート
レートギャラリーへ審査作品、審査書類
を提出した。11月か12月に開催予定。

*協会展 募集要項は会報1月号に同封し
た。募集期間3月6日(月)～3月10日
(金)協会事務所で受領する。送付方法は
募集要項に記載。

*作品審査は4月上旬に、協会事務所を予定、
協会展は「東京都美術館・2階第1展示室」
で開催。(令和5年9月9日(金)～9月
17日(土)休館なし)

*山岳写真セミナーは9月12日(火)両毛
支部担当、13日(水)北陸支部担当の予定。
(会場は2月20日～28日抽選申し込みを
する。)

*一般公募入選者表彰式は9月16日(土)
上野精養軒で行う予定。

*「山と溪谷」誌3月号に昨年の「優秀作品」
「コメント」を掲載依頼があった。

3 3月例会について(大村理事・川瀬理事)

入会が5年以内の会員で、プリント技術で
悩んでいる会員が対象。

3月4日(土)午前9時30分～午後4時(時
間内、都合の良い時間に参加出来る)場所:
日本山岳写真協会事務所

内容:撮影データー1人2点を持参しても
らい、プリンターを使用して印刷作業を行う。
インク代など500円。

4 山岳写真研究会（鈴木菊副理事長）

第3回の郵送方式による作品研究会で、2月12日締め切りで8名、32点の応募があった。講評内容を3月会報に掲載する。第4回は6月頃に予定している。

5 委員増員（協力者）説明会

役員として会務への協力者が減少しており、実務を担う理事の負担が増えている。恒久的に委員候補者を探す行動が必要である。そこで会の運営や諸作業を知ってもらい、役員協力者を増やすために説明会を行いたい。

2月会報に案内を掲載して、3月18日（土）10時～12時協会事務所で説明会を予定、理事会にもオブザーバーとして参加してもらう。

6 各業務年間計画について

*総務 毎月の理事会議事録は岩本副理事長と青山理事が交代で担当している。

*企画（大村理事）令和5年度の毎月の理事会開催について説明した。

3月18日（土）担当責任者理事会 協会事務所にて

4月15日（土）定例理事会 TKP スター貸会議室四谷第1室

5月13日（土）定例理事会 TKP スター貸会議室四谷第1室

6月17日（土）定例理事会 TKP スター貸会議室四谷第1室

7月以降の理事会についてはコロナ禍の状況により、協会事務所を予定。

*例会は第1回目「作品プリントの作り方」をテーマに3月に開催。第2回例会は10月、第3回例会は11月を予定。

*第3回の郵送による作品研究会を1月に実施、第4回は6月を予定。

*合同撮影会（北陸支部主管）5月末 立山室堂（みくりが池温泉）

*9月16日一般公募入選者表彰式、協会展祝賀会予定。

山岳写真セミナー 9月12日（両毛支部）・13日（北陸支部）（東京都美術館講堂）

*会計（青山理事）年会費の納入について未納者に3月に督促状を送る。以降未納の場合は5月から会報等発送を停止し、12月末で退会（除名）とすることを周知させることを申し合わせた。

*支部展補助費については開催順に支払いをする。

*貸会議室には予約状況により振り込みを行う。

*協会展会場費・セミナー会場費・公募表彰会場費など支払う。

*会報（飯田副理事長）

3月・11月の会報は休刊とする。巻頭言は7支部長に順次お願いしている。

12月は首都圏が担当。表紙写真は4月から南信支部・北陸・東海・関西・松本・9月首都圏・10月両毛支部・12月山梨支部の順で掲載予定。

記事掲載希望者は直接飯田副理事長へ連絡をお願いする。

*写真展関係（大石理事）

協会展・選抜展・2024年カレンダーの作品募集から出展までの工程説明をした。

作品募集は3月6日～3月10日まで、協会事務所にて係員が受理する。

審査は4月上旬の予定。（写真展審査委員会）

ポスター制作依頼（フォト信州）・後援依頼5カ所、案内はがき制作依頼。

6月展示プリントをクリエイトに依頼

7月に目録制作依頼2500枚、その他7月・8月に東京都美術館に使用書類提出

受付当番予定表の作成など。展示9月9日～9月17日（休館なし）

*I T 関係予定（鈴木副理事長）

主な「年間作業表」と「役員連絡用メーリング登録表」を配布した。

主な作業は鈴木副理事長が毎月のホームページ更新や会員専用ページ、川瀬理事は別館の写真展ギャラリー、例会研究会の更新を不定期で行う。

新Web（facebook）は緑川邦雄理事・伊藤哲哉委員・鈴木副理事長が不定期で管理する。

7 その他

*事務所当番について郵便物は開封して確認後、担当者に連絡をする。

留守電・FAX・メールについても同様。

*当番者は当番日誌に記録して、次の当番者へ引き継ぎの連絡すること。

*Facebookの最近の掲載記事と登録会員状況をプロジェクターで投影し閲覧した。

*「山と溪谷誌」3月号に一般公募・協会展の作品募集と協会展開催の記事が掲載。

●次回定例理事会 3月18日（土）

午後1時より 担当責任者理事会
協会事務所

第89回 デジタル研究会報告

日 時 令和5年3月23日(木) pm6:30～9:00

場 所 四ツ谷協会事務所

テ ー マ

- ①撮影ガイド 屋久島・宮之浦岳(川井)
- ②CP+カメラ映像ショウの情報(川井)
- ③トーンカーブとカラーバランスの調整方法(川瀬)

参加者 川井副会長、飯塚、山崎、大谷、担当:川瀬(敬称略)

- ①撮影ガイド 屋久島・宮之浦岳(説明:川井 靖元)

屋久島は3回訪れたが、梅雨入りの時期(4月あたり)が適している。この時期は、シャクナゲの季節にもなる。宮之浦岳頂上を狙うには、高塚小屋に泊まる必要がある。縄文杉なら、日帰りで回れる。湿度が高く、雨が多いが、霧の雰囲気撮るのも良い。一度は訪れてほしい。

- ②CP+カメラ映像ショウの情報(説明:川井,川瀬)

4年振りの会場開催となったが、出展企業は減少し、やや寂しいショウとなった。スマホの普及と進歩の影響を受け安価なコンデジは減り、また海外のメーカーの参加も減って以前の盛り上がりはなかった。

高価な一眼レフはほとんどミラーレスカメラに変わり、使いやすさ、高性能な仕様に進化しつつあった。CPU,合焦にAIが入り、電子シャッター(メカシャッター無)カメラ、低照度での合焦技術などが話題になっている。しかし、ソフトメーカーの参加がほとんどなかったのは寂しい限りである。

- ③トーンカーブとカラーバランスの調整方法(説明:川瀬)

現像処理の最終では、トーンカーブとカラーバランスの仕上げが重要となります。

先日の月例会の「作品プリントの作り方」で、この二つの調整をきちんと追加することでどの作品もきれいに仕上がりました。研究会のデモでは、その時のデータを用い、トーンカーブとカラーバランスの効果を確認頂きました。Photoshopでの処理はお勧めです。

Photoshopのフォトプランでは、月額980円(税別)でLightroomも使えて、常に最新のソフトで使える安心があり、一生の契約でも損はないと思います。

これからのデジタル研究会では、画像処理の実践的な解説を進めて行きます。

第88回 デジタル研究会報告

日 時 令和5年1月19日(木) pm6:00～9:00

場 所 四ツ谷協会事務所

テ ー マ

- ①冬山撮影ガイド
- ②RAW現像ソフトの紹介(DXO社PhotoLab5)

参加者 川井副会長、吉田、奥谷、大谷、志賀、河野、担当:川瀬(敬称略)

- ①冬山撮影ガイド(説明:川井)

冬山撮影の作品例として、谷川岳その他の紹介。撮影ポイントは天神平スキー場の上部にあり、アクセスが比較的容易であり、撮影環境として恵まれている。天気良ければ、頂上までも日帰り可能となる。是非、参考にしてほしい。

冬山の撮影地としては、那須高原、赤城山、谷川岳（天神平）、浅間山山麓、富士山（三つ峠）、高尾山、志賀高原（横手山）、入笠山、北八ヶ岳（坪庭）、上高地、白馬八方尾根、中ア宝剣岳、美ヶ原等があり、アクセスも良く、冬山の写真が十分に撮影できる。

② RAW 現像ソフトの紹介（説明：川瀬）

RAW 現像では、メーカーの推奨のソフト（キヤノン DPP やニコン NX Studio）やアドビの Lightroom の利用が多いところで、サードベンダーの現像ソフトも性能が上がってきています。今回は DXO 社のソフトを試し、その例を紹介しました。

もともと、DXO 社には世界的に有名な Photoshop のプラグイン（組込）ソフトとして Nik Collection フィルターがありますが、RAW 現像では Photo Lab というソフトが販売されています。

実際試したところでは、現像がしやすいようにヒストグラム全体をある程度自動でセットしてくれること、各カメラメーカーのレンズと本体のデータが充実して、ヴィネットやシャープネスの補正が優秀で、全体として扱いやすい印象があります。今回はノイズ除去の効果を検証していませんが、AI 技術の導入で画期的な進化をしているようです。

現像ソフトは各調整の作業手順に沿って扱いやすいものが求められ、自分の感覚に合ったものを探していくことが重要と思います。

支部だより

2023 年 山梨支部総会報告

事務局 清水 清

2023 年 2 月 4 日 山梨県立図書館に於いて
会員 7 名出席のもとで支部総会を開催しました。

支部長挨拶の後で議事に入り 2022 年事業
報告、会計報告、合同理事会報告が各担当者
より報告がありました承しました。

2023 年事業計画として、支部展は山梨県立
図書館に於いて「9 月 20 日（水）～ 24 日（日）」
に開催します。

例会（研究会）は 5 月中旬に、デジタル写
真の専門家でもある津島会員によるより詳細
な撮影技術、データの保存、精細なプリン

ト方法を講義していただきます。

創立 40 周年記念行事については検討中です。

役員改選について、支部長、福島静雄 副
支部長、三枝仁他 会計、興水忠比古 事務
局、清水清 の役員構成となりました。

支部展展示作品について従来の製作にくわ
えて経費削減の観点から種々の方法を検討す
る事を確認しました。

新入会員については公募展に応募を希望す
る方には側面からバックアップしていく事を
確認しました。当支部は少人数ですが来年も
活発に活動してまいります。

両毛支部撮影会のご案内

◎ ニッコウキスゲ咲く尾瀬沼撮影会

◎ 7 月 22 日～ 23 日 ◎ 長蔵小屋（尾瀬沼）泊

詳細は 5 月号にて発表いたします

北陸支部創設30周年記念 写真集「山の断章Ⅲ」発行



日本山岳写真協会北陸支部（支部長 高見源彰氏）の創設30周年を記念してこの程「山の断章Ⅲ」を発行した。

今回は支部会員15名が3～4点ずつ出してのもので、左右25cm、天地21cm。

支部では山の断章ⅠとパートⅡにつづき3冊目となる。今回は支部の30周年のあゆみなども記載されている。

表紙の言葉

「ライチョウ」

南信支部 赤羽 和貴

夏にむけて換羽中のライチョウ

復活プロジェクトが成功することを麓から願う（中央アルプス将棋頭山にて撮影）

＝ 会員往來 ＝

退会

No. 895 野口 正史
No. 862 小幡 賢次
No. 969 高城 泰輔
No. 963 香月 夏雄
No.1163 伊藤 政光

逝去

No. 907 佐々木 健二（関西）

◎関西支部長 池上 擴朗（かくろう）
に訂正

＝ 会員名簿に掲載された後に退会者 ＝

退会

No.1198 伊藤 利八朗
No. 512 梅本 知榮子
No.1087 長谷川 勇
No. 949 早川 定善
No. 604 町田 佐智子

電話番号修正

No. 382 能條自大 080-3738-3469

メールアドレス訂正

No. 289 名取 洋
hiro-nozo.natori@jcom.zaq.ne.jp

日本山岳写真協会 事務所

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15番4号
第一原嶋ビル502号

TEL/FAX.(03)5357-7387

事務所には常駐しておりません

会報担当：飯田信義・川瀬正博